

1 ねらい

・教育活動、その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき教育活動・学校運営の改善を図る。

2 アンケート実施期間 平成28年12月

3 対象者 生徒981名、全保護者981名（生徒数）、全教員 65名

4 回答率 (%) ※生徒1名について、1枚の評価をいただいた方もおります。

	生徒	保護者	教員
回答数	915名	981名	65名
回答率	93.3%	99.1%	100%

5 アンケート結果と考察

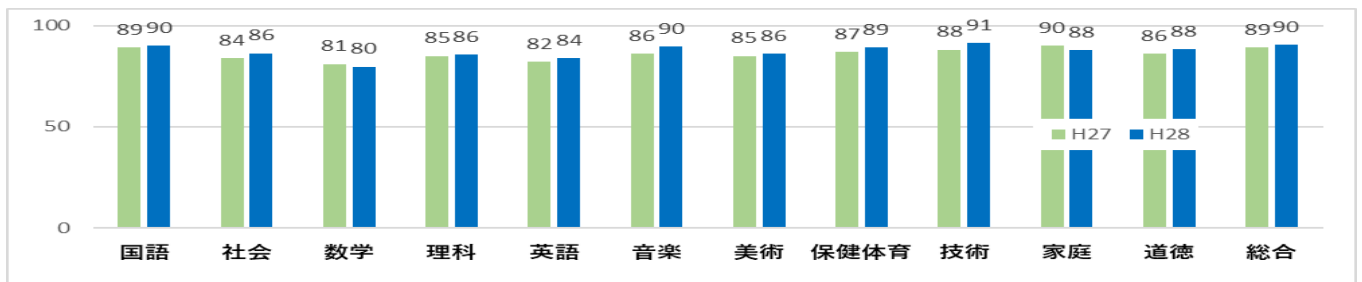
「そう思う、大体そう思う」と答えた生徒・保護者についての割合でグラフを作成。

< 生徒 >

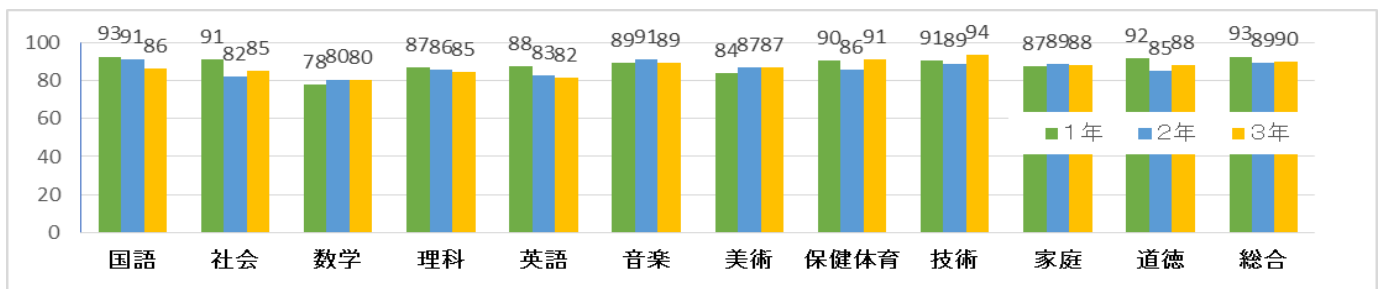
(1) 学習面：各教科への取り組みについて

質問：学習への取り組み 「興味・関心を持って取り組む。」

【全校生徒】・昨年度（27年度）に比べ、どの教科もほぼ同等か、1～4ポイント上昇している。  
・どの教科も、80%を超える生徒が興味関心を持って取り組んでいる。

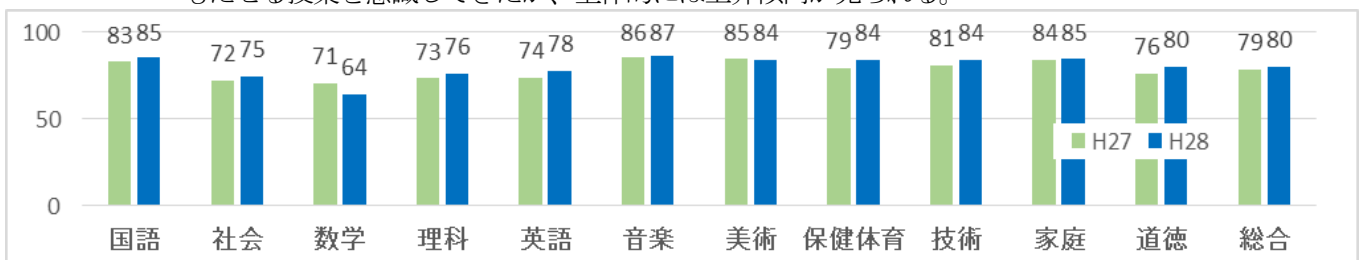


【学年別】・1年ほどの教科でも興味関心が高い。全体的には1年から3年生へと下降傾向がみられる。



質問：学習の理解度 「(各教科について) 理解できる。」

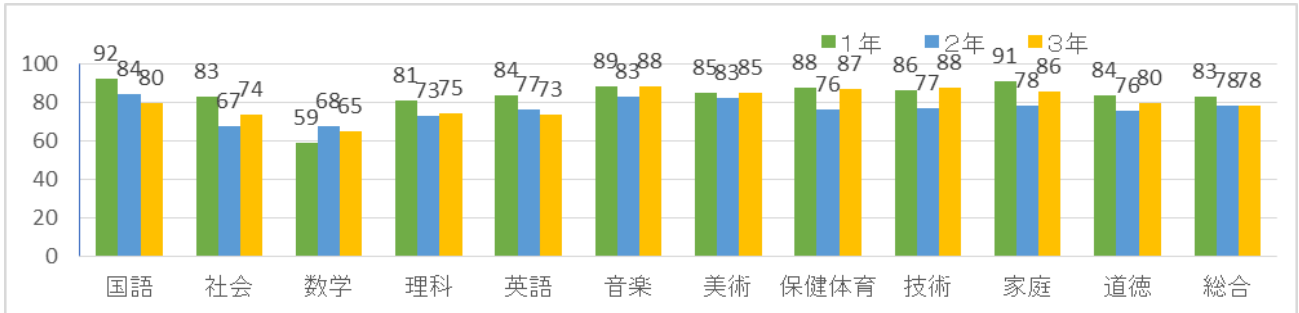
【全校生徒】・数学が7ポイント昨年より下がり、他の教科は昨年度と同様か、数ポイント上昇した。  
・昨年度は、前年度より理解度が下がった教科が6教科あったので、学習内容の定着や達成感をもたせる授業を意識してきたが、全体的には上昇傾向が見られる。



【学年別】・1年生は8割を超える生徒が理解できたと感じているが、数学は6割を切っている。

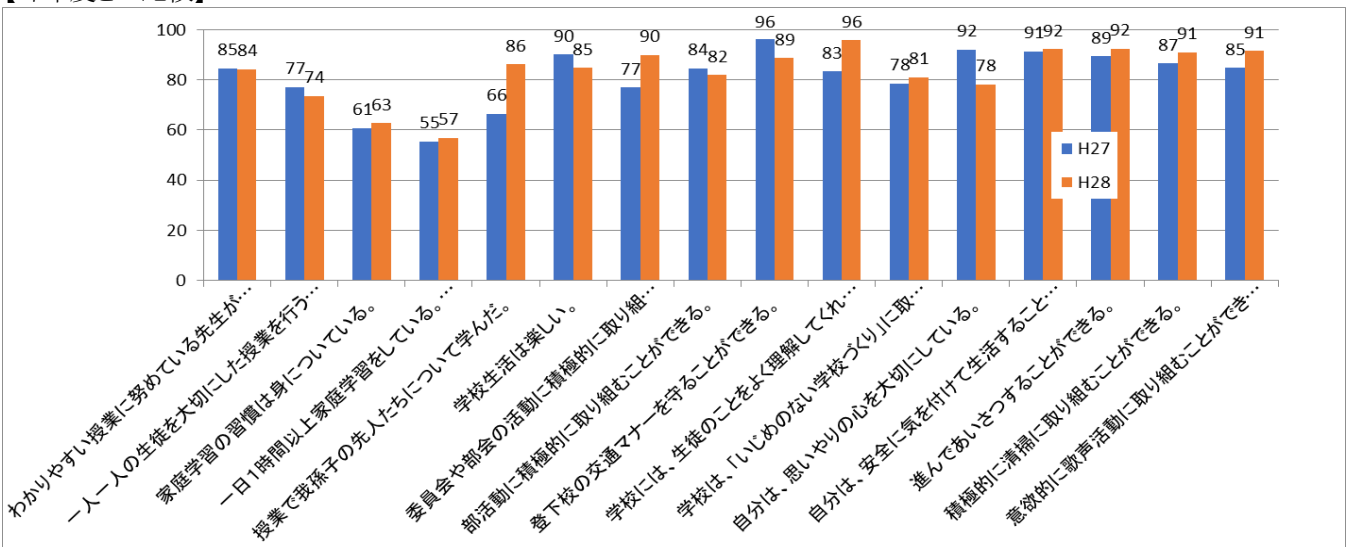
・国語、音楽、美術はどの学年も8割を超えている。

・2, 3年生で7割を切っている教科(2年社会、2・3年数学)があるので、改善を図ってきたい。

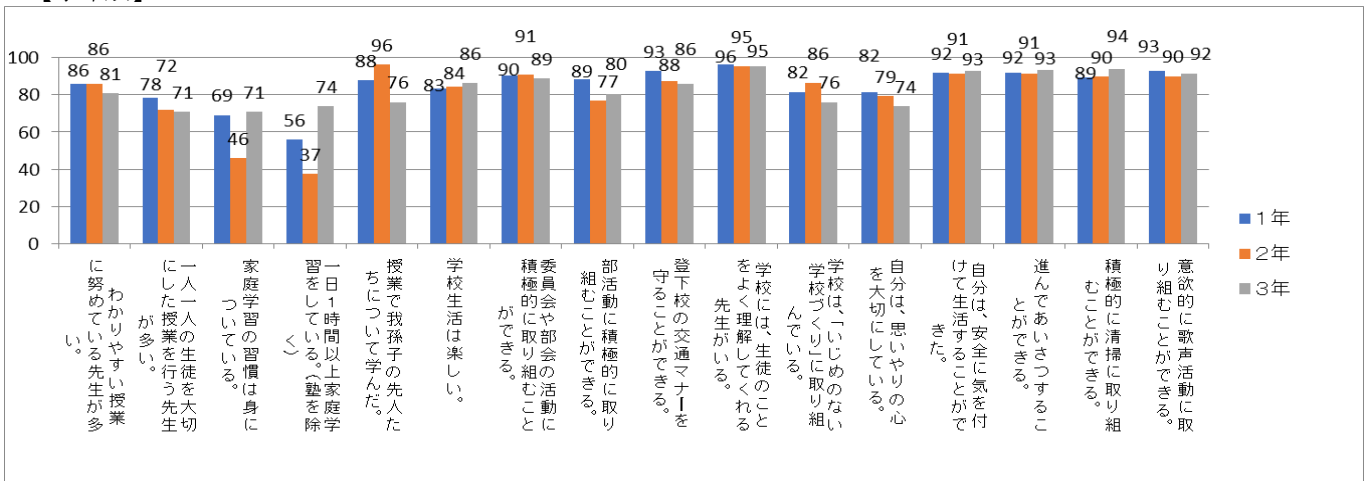


## (2) 生徒の家庭学習・学校生活などについて

【昨年度との比較】



【学年別】



### \*\*生徒の学習について\*\*

- ・昨年度、課題のあった家庭学習への取り組みについては、63%（「家庭学習の習慣」2%アップ）及び57%（「1時間以上の家庭学習」2%アップ）と微増している。
- ・「我孫子の先人たち」については全体で20%上がり、授業での実施が定着しつつある。
- ・「一人一人を大切に授業」は、昨年4%上昇したが、今年は3%下がっていて課題が見える。

**\*\*生徒の学校生活について\*\***

- ・委員会や部会など積極的に取り組む生徒が13%も増えていて、生徒の自治活動が盛んになっている。
- ・「学校生活が楽しい」と感じる生徒が5%減少している。
- ・「登下校のマナー」を守っていると思う生徒が9割を切っており、一層意識させていく必要がある。
- ・我孫子中の3大伝統「挨拶」・「清掃」・「歌声活動」についても、昨年より3～6%上がって9割を超えており、更に自治的な活動を大切にし、自己有用感・所属感を高めながら生徒を成長させたい。
- ・「思いやりの心を大切にしている」と回答した生徒の割合が、昨年度92%から78%へと下がっており、全体的に道徳の授業や普段の授業・生活を通して、相手の気持ちや立場になって行動できるように、適宜声かけをしていくことを大切にしたい。

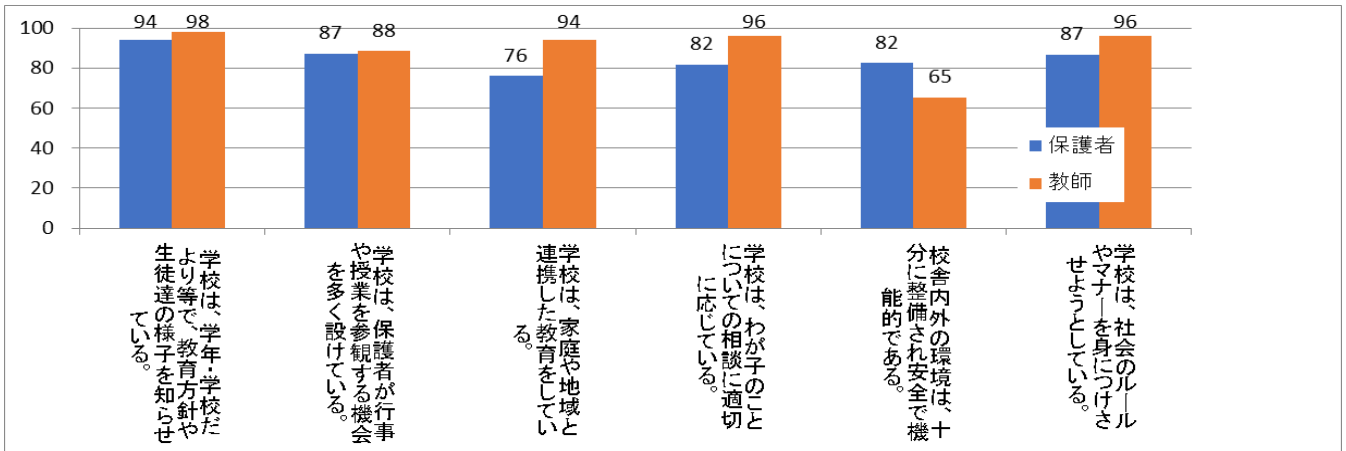
**\*\*教師・学校の取り組み\*\***

- ・「生徒のことを理解する教師」は、平成25年度76%から毎年伸びていて、今年は96%となった。日常の、教師の声かけ・相談活動の結果だけでなく、学校全体でアンケート結果やQU検査等を活用し生徒理解に力を注いできた成果が現れていると考えられる。
- ・「いじめのない学校づくり」は、平成25年度、26年度は74%と横ばい状態だったが、27年度は78%で、今年はさらに3%上昇した。いじめのない学校づくりに向け、さらに学校全体で組織的な取り組みを強化していく。

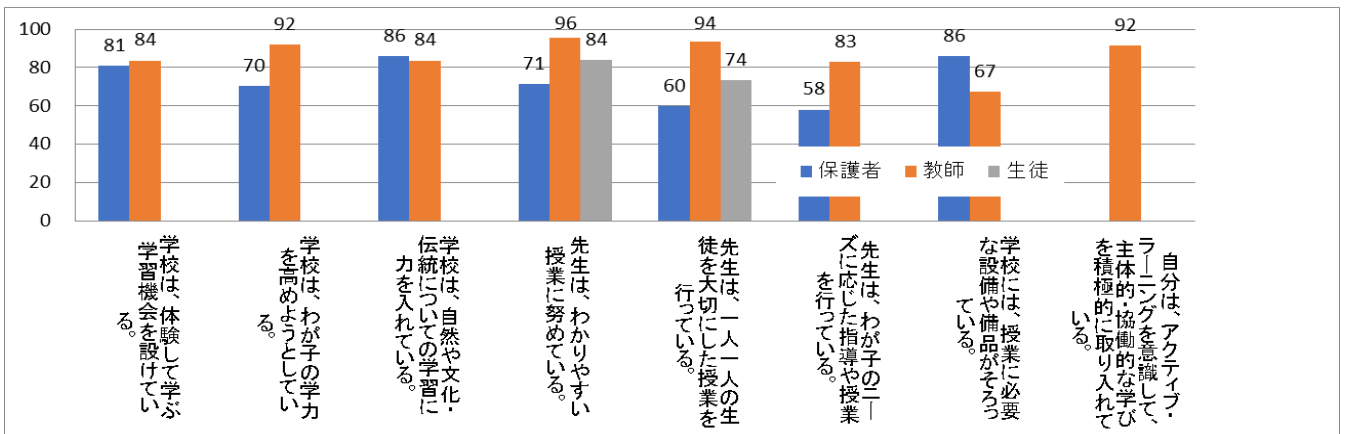
**【保護者】**

＜教師と保護者と教師（と生徒）の回答を比較＞

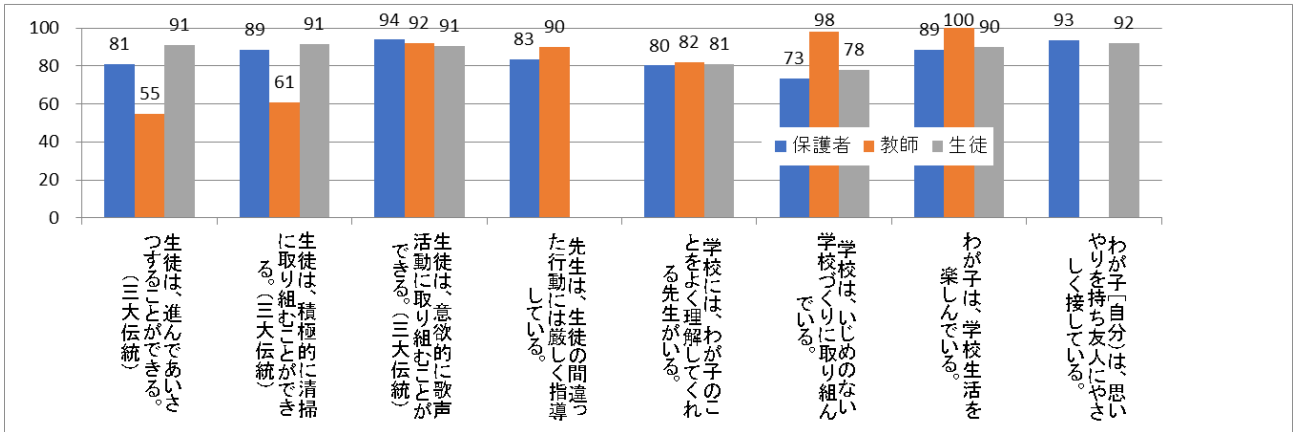
**(1) 学校運営について**



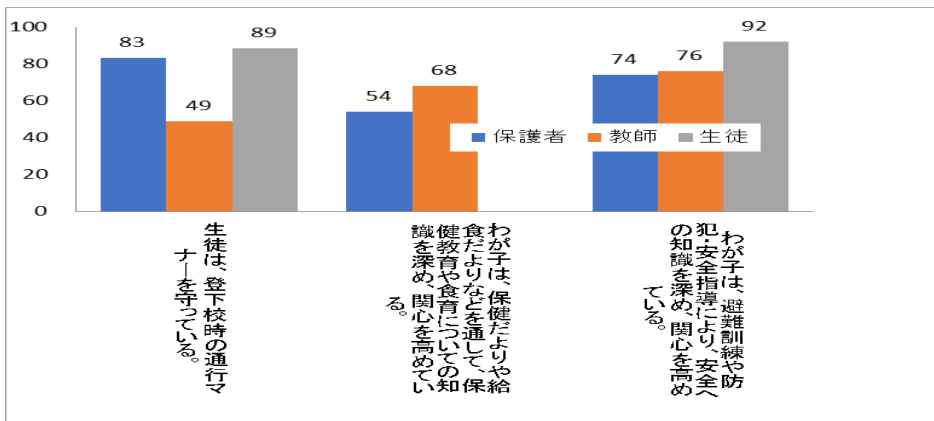
**(2) 学習指導**



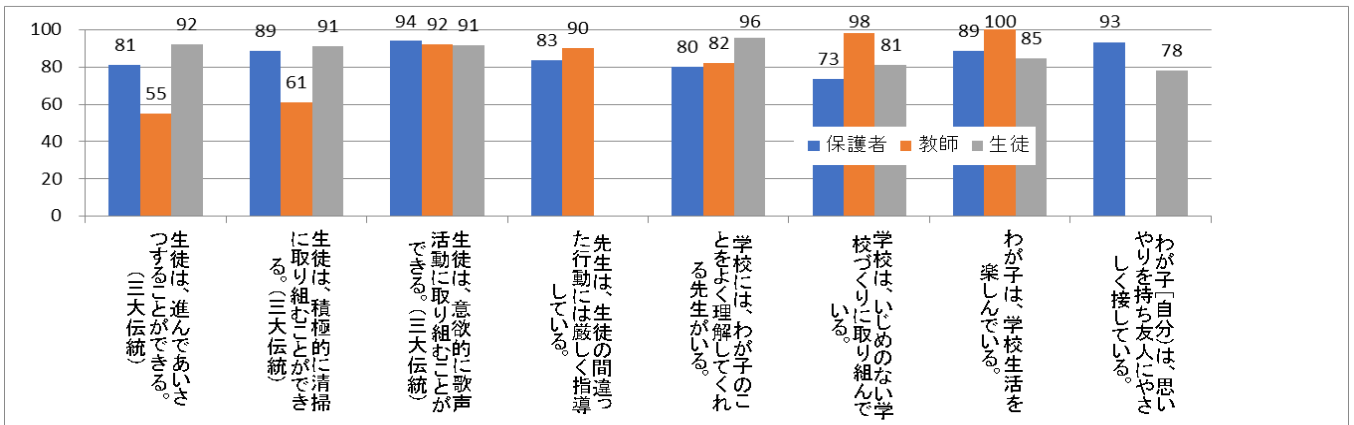
### (3) 生徒指導について



### (4) 健康・安全面について



### (5) 部活動・PTA活動について



- 学校運営** については、「学校と家庭、地域との連携」と「教育相談」「社会ルールの遵守」について、保護者と教師の間に意識の差がある。学校でやっていることを日頃から広く保護者・地域に知らせていくと同時に、より意識して家庭や地域との連携や教育相談を進める必要がある。また、社会ルールやマナーの指導については、保護者や地域の方々にも協力を仰ぎながら、意識の高揚を進めていきたい。
- 学習指導** では、「わが子の学力を高めようとしている」に対して、肯定的な評価をした回答が4%上昇し70%になり、他の回答はほぼ昨年度同等である。「一人一人を大切にすること」や「ニーズに合った指導」という点では6割程度しか保護者の肯定的回答を得られていないので課題があるといえる。また、保護者と教師の回答にも差が見られるので、改善を図ると共に、学校の授業づくりについて理解してもらえよう、保護者会、学校だよりやホームページなどを通して伝えていく努力が必要である。

- ・**生徒指導**については、「挨拶」や「清掃」が、保護者・生徒から高い評価を得ているが、教師からの評価は低い。ゴールとする姿をASKなどの生徒会活動を通して言葉で伝えて、実現していきたい
- ・**健康・生活面**では、登下校のマナーについて、保護者・生徒は8割以上の肯定的回答が得られているが、教師からの評価との間には差がある。登下校のマナーについては課題がある。保健教育や食育の指導について、保護者に伝わっていない面があるので、保健だよりや給食だより、給食賞味会などを通して学校の取り組みを伝えるとともに、より意識して必要な指導をしていきたい。
- ・**部活動指導**については運営方法、指導方法等を改善し、保護者や地域の協力を得ながら、大切な教育活動として更に充実したものとしたい。
- ・「**生徒の地域の行事への参加**」が50%以下なので、地域の行事を大切にする意識を学校としても高めていきたい。

## <全体を通して>

### ① 生徒指導・安全面

- ・自転車の乗り方、登下校と安全指導について、引き続き指導をしていく必要がある。一昨年より自転車の乗り方指導の冊子を使って学級で指導したり、集会等で日常的に交通マナーの向上について呼びかけたりしている。しかし、ときどき地域の方から自転車の乗り方、歩行者の歩き方などについてマナーの悪さを指摘する連絡をいただく。本校の学区は、国道等交通量の多い通りが通学路にあるので、家庭での指導、生徒会活動（安全委員会）と連携して、安全指導に努めていく。
- ・携帯やメール等の情報教育については、それらを効果的に使う方法を指導すると共に、誤用によるトラブルを避けるためにも、保護者・P.T.Aの協力を仰ぎながら、計画的に行っていききたい。
- ・挨拶・清掃・歌声の「三大伝統」については、職員の率先垂範に合わせ、本年同様、委員会活動を活性化し生徒会とも連携し重点的に取り組んでいく。
- ・いじめについては、人間関係作りやコミュニケーション能力を育てる指導と併せて学校全体でこれからも取り組んでいく。生徒との教育相談の時間をとるなど一人一人に目を向け、日常の観察や生活記録帳などを大切に、職員の横の連絡および保護者の協力を仰ぎながら、迅速な対応をしていく。

### ② 学習指導

- ・重点項目のひとつである『学力向上』は、基礎基本の定着とアクティブ・ラーニング型授業の展開により、子ども達が「わかった」「学ぶのが楽しい」「もっと学びたい」と感じる授業づくりをしていきたい。来年度は、アクティブ・ラーニング型の授業を全国公開する予定なので、グループ活動を中心に、互いに学び合い、共に思考力・表現力・判断力を伸ばす授業を作っていく。授業改善を目指して、校内外の研修だけでなく、教科部会を活用して日常的に授業について研修ができる体制にする。
- ・学区内の小学校とともに『共通の手立て』（「話し方・聞き方あいうえお」「グループ学習」など）に取り組み、小学校で習得した学習習慣を中学校でも継続できるようにする。
- ・補習や学習サポートについてもテスト前や放課後、今年度同様計画はしていくが、生徒が参加しやすいように呼びかけや時間の設定等、工夫をしていきたい。

### ③ 部活動指導

- ・結果偏重にならないように、体力向上や人間育成の場面と捉えて取り組んでいく。学習や家庭生活とのバランスも考慮し、週1日は完全休養日を設ける。
- ・下校時の安全指導や交通マナーについて、顧問が日常的に声かけをしていく。
- ・部活動の計画、情報発信についても顧問が責任を持って行うようにする。

### ④ 教師の指導

- ・若手の職員が多くなってきた中、指導方法の研修のみならず、教員である前に社会人としての言葉遣いやマナー等も研修していきたい。

⑤ その他

- ・HPの更新や情報提供・発信については機会を捉え丁寧に行っていききたい。特にHPについては組織の中で明確化し対応していききたい。

【学校評議員会議より】

- ・数学の理解度について、低い結果が出ており、1年生の内容が分からないと2, 3年次の学習にも影響がでることが懸念される。しかし、どこの学校でも数学の理解度が低いのが現状の様で、小中連携により、現状を伝えて、小学校での学習内容の基礎固めや、算数の苦手な子へ指導をお願いした方がよい。
- ・家庭学習の時間が2年生で少ない様だが、2年生は部活動と塾などの習い事に通うことで精一杯な時期である。また、宿題は家庭学習に入れていない子がいるのではないかと思われるので、その辺をしっかりと伝えた方がよいのではないか。
- ・進路指導については、3年生の秋の三者面談で志望校を聞かれるが、2年生のうちに三者面談や進路相談を希望者には実施するなどの手だてを取っておいた方がよいのではないか。
- ・全体的に学校の生徒、先生達が頑張っているのを感じる。